



Weekly Report Rotary

福島中央RC



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市菅根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



こんにちは
先週の長浜東RC来訪の際には皆様のご協力に感謝申し上げます。

長浜東RCの活動その他を聴いて大変参考になりました。特に印象に残ったのは親子でロータリーの会員になっている方が2組いらっしゃるということです。

また、アトラクションのフラダンスはお楽しみいただけただでしょうか。日本の歌謡曲「亜麻色の髪の乙女」をバックにしたフラダンスはピッタリと何の違和感もなかったのは驚きでした。このフラダンスは穴戸会員のご尽力で出来たことで、感謝申し上げます。

今日は、奉仕プロジェクト委員会活動の一つで、児童養護施設と子ども食堂への食材の贈呈式をこの後行います。昨年度も子ども食堂の立ち上げに協力いただきましたが、その際に子ども食堂ネットワークの方の卓話で「子ども食堂は、生活困窮者ということではなく、子どもたちの集いの場」というお話をお聞きし、目からうろこでした。

私が子どものころは、中学生又は小学生高学年の「ガキ大将」が小学生低学年の子供たちを引き連れ、うら山や野原で駆け回っていて、その中で学び成長してきた思い出があります。

さて、10月は地域社会経済発展月間・米山月間そして10月24日は世界ポリオデーです。

今日はポリオについてお話いたします。

野生型ポリオウィルスは1988年以来123か国で根絶いたしました。しかし現在も数か国で根絶できていない国があり、引き続き根絶へ向けた活動が重要です。現在はポリオプラスとして活動しております。

話は飛びますが、4年前にコロナウィルスが猛威を振るい世界がパニックに陥ったことは記憶に新しいことで、現在もコロナの感染は続いております。

世界がコロナワクチンの開発に取り組みましたが、ここにポリオ根絶に向けたインフラが大きな役割を果たしております。

ロータリーを中心としてWHOやユニセフが構築したポリオ根絶に向けた巨大なネットワークがコロナウィルス対策に活用されています。コロナウィルスの経路を探り、何千もの検体検査を行い、コロナウィルスの性質やデータ解析・感染経路の特定・感染マップの作成、さらにこれらの情報を一か所に集約し、ポリオセンターがコロナセンターを兼務し、検査所や研修を行い、検査キット・防護服やワクチンの配送などのインフラはポリオ根絶に向けたインフラを活用していたということです。我々ロータリーが取り組んできたことが、コロナに対して大いに役立ったということです。

今後、ますます全世界的に人口交流が盛んになります。ということはウィルスも盛んに移動するということです。たとえ全世界でコロナが根絶したとしても新たなウィルスが発生し、人類はこれと戦っていかなければなりません。ロータリーが中心となって築き上げたこのインフラを大切に堅持する必要があるということです。



会長より、各テーブルに旅行のおみやげをお配りしました。

2024年10月2日(水)

第11回(通算1598回)

ウェディング エルティ

「新会員スピーチ 川瀬 哲雄会員」

例会次第

- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 齋藤 康隆会員



- ◆「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長
- ◆お客様並びに来訪ロータリンの紹介
・社会福祉法人青葉学園
施設長 黒沢俊之助 様
・社会福祉法人福島愛育園
阿曾俊樹 様
・みんなの孫子老食堂
庄司美穂 様
- ◆飯坂温泉子ども食堂えん
巖湯山常泉寺 住職 中野善隆 様
- ◆いいざか子ども食堂いっしょに
新狐山宝光院不動寺 横田真紀 様
- ◆児童養護施設・
子ども食堂への食材贈呈式
・目録贈呈
・代表者様よりごあいさつ
社会福祉法人福島愛育園
阿曾俊樹 様

- ◆10月会員及びパートナーの誕生祝
- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 多田 憲司幹事
- ◆各委員会報告
・11月のプログラム紹介
穴戸 宏行委員長
・ニコニコBOX委員会報告
植木 博隆委員
・指名委員会について
穴戸 宏行会員
- ◆新会員スピーチ 川瀬 哲雄会員
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長



新会員スピーチ

福島トヨタ自動車(株) 川瀬 哲雄会員



本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。
本年8月に入会させていただきました 福島トヨタ自動車の川瀬哲雄と申します。
自己紹介といままで携わってきた業務についていくつかお話をさせていただきます。

大学卒業後、平成7年に入社しました。
配属してすぐ、太平寺にある福島店で新車の営業を7年間行いました。
その後、営業企画の仕事に10年携わり、店長を7年間 郡山・福島・いわきで勤めました。
令和2年から総務部に配属となり現在5年目となります。

営業時代の話からしますと変わった車の販売にも携わりました。

一つだけご紹介しますと「救急車」です。
みなさん救急車を販売するのに資格が必要であることをご存じでしょうか？

救急車の車両だけであれば販売する場合、資格は必要ありませんが様々な医療機器を載せて販売するため、資格が必要となります。

ちなみに、私が販売した救急車は福島県立医科大学に納めたものだけですが、福島市の消防署に配備されている全ての救急車はトヨタのハイメディックという高規格救急車になっており、全て入札で当社で納めております。

高規格救急車とは救急救命士が乗車し高度な救急救命処置を行うことができる救急自動車で、心電図の情報が病院に転送できるシステムを搭載した救急車もあります。

つづいて、営業企画時代に携わった業務をお伝えします。
ここでは、カーディーラーの営業とは全く関係ない様々な仕事がありました。
1つご紹介しますと“プリウス基金”というものです。

1997年 初代プリウスが発売されました。
この年は、京都議定書の採択など環境問題への関心が高まりつつある時期でした

まさにこの時期に、環境問題の取り組みができればとの思いから 社会貢献活動が始まりました。



そこで、福島トヨタは独自にプリウスを一台販売するごとに5000円を積み立てる“プリウス基金”を設立。お客様を招待し、県または市町村の管理する土地に植樹する活動を始めました。その活動は12年間続き、合計2958の木々を植樹いたしました。ところが、2011年 東日本大震災が発生。

放射能による土壌汚染が問題となり活動を中断せざるを得なくなりました。

また、山間部の除染はほとんど行われなかったため、これまでおこなってきた植樹活動を見直さざるを得ないこととなりました。

そこで、生まれたのが福島トヨタクリーンプロジェクトです。

環境保全活動というバックボーンは同一とし、新たな取り組みとして、「福島の水と森をテーマにした清掃活動」を展開することにしました。

あわせて、基金の名称も「プリウス基金」を「福島トヨタ みず・もり基金」に改名しました。

活動の内容は、水と森に大別して二本柱で行います。

車名が水にまつわる“アクア”と絡め、“アクアクリーンキャンプ”と称してアクアオーナーを対象にした参加者を募り川や海などで清掃活動などをするものです。

一方、プリウスユーザーを対象にした、“プリウスセーブザフォレスト”については森にいき、清掃活動などを行うものです。

2013年から2019年までの活動でアクアクリーンキャンプが11回・プリウスセーブザフォレストが9回 のべ2000名を超えるお客様にご参加いただき実施できました。

順調に活動しておりましたが、今度は新型コロナが発生し活動を中止。さらに、2020年からはトヨタ車全車種取り扱いとなしました。

当初、ハイブリッド=環境保全の考えで進めた活動は、いまアクアとプリウスに限らない様々な車種がハイブリッドカーが存在し、さらには、この活動に賛同されるお客様がアクアやプリウスから代替できず困られていたので、これらの課題を解決すべく参加対象者を「弊社のオーナー全て」と変更し2022年より活動を再開しました。

これまでのアクアクリーンキャンプの実績は13回 さらに、今月南相馬市で開催予定です。

そして、プリウスセーブザフォレストはこれまで12回実施しています。

プリウス基金が始まった25年前は、SDGsという言葉は流行っていませんでしたが、森を守ることで水資源を守るという取り組みは、正にSDGsに合致した活動となっております。

続いて、いわき平店の店長時代のエピソードです
令和元年10月12日 福島県に大型の台風が19号が接近するというニュースが流れ、14:09にいわき市に大雨警報が発令されました。

店舗から数百メートル離れた川が氾濫危険水位を超えたため川周辺に避難指示が出され、夜間にいわきの中心部を流れる新

川、さらに、夏井川、好間川が氾濫し、死者8名5000世帯以上が避難する大規模災害となりました。

店舗は浸水被害は無かったものの、周辺地域は床下床上浸水。お客様のところに行く道路も寸断されていた状態でした。突然ですが、ここで、みなさんにご質問です。ゲリラ豪雨の映像とともに、水没している自動車があるシーンがテレビでよく見られますが、自分は絶対に水が溜まっているところに突っ込まないという自信はございますか？

私の経験では夜は、水が溜まっている場所が暗くて分かりにくく、いつの間にか水の中に入っていき可能性があるということです。<ドライブレコーダーの映像を視聴>水の中に入ると、アクセルを踏んでも加速しにくくなるので気づきません。このような天気の場合、スピードは控えめに運転しましょう。

この時の被害は広範囲になりJAFにレッカーを頼んでも、2ヵ月先になるとか、保険会社にレッカーを依頼してもいつになるか分からないといった具合に、レッカー車不足になっていました。

そこで、お客様が大変不自由な思いをされていることから次のことを店長として決断しました。

- ①運ばれてくるお客様のお車は受け入れを断らない
- ②自社の積載車でお客様のお車を引き揚げにいく

日中は復旧作業に向かう車、さらに、作業をしているため路上駐車が多く、大変滞りするため効率が悪いので、夜7時から10時くらいの間にお客様のところへ引上げに行きました。

お客様から感謝される一方、引き揚げてくる車の置き場に難儀することとなりました。店舗の敷地には収まり切れず、取引先の建設会社の資材置き場を当座お借りして対応しました。最終的には山間部に1000坪の土地を借りて一時的に預かるよ

うにし、12月末までに保険会社に引き渡すなどの対応を取りました。

この期間、業者のレッカー車で持ち込まれた車両と自分たちで引き上げた車両、合わせて180台となりました。買い換えた場合の次の自動車の手配ですが、レンタカーは需要が急増したため県内のレンタカーが不足しました。そこで、隣県の山形にご協力いただき手配することができ、お客様にスムーズに貸し出すことができました。また、買い替えの場合の車両については、全国から中古車を融通してもらい、在庫が切れることなくお客様に提供できました。さらに、新車についてはメーカーに被災地の生産を優先していただき数週間という短納期でお客様にご納車させていただくことができました。

さらに、復旧の邪魔をしたのが断水です。多数のお客様が断水していました。当店は水道が通っていたためLINEで入れ物持参の方にはお水を無償提供しますとお客様に送信したところ、掃除をするための水が欲しいとポリタンク持参で多くのお客様が来店され喜んでいただけました。この災害を通して、地元の皆さんのお困りごとに自動車販売店として少しはお役に立てたかと思っております。

以上とりとめの話でしたが、私がこれまで携わってきた仕事の話を見せていただきました。ご清聴いただきありがとうございます。



11月のプログラム紹介

日付	内容	時間	会場
11月6日(水)	地区大会報告	12:30	福島県教育会館
11月13日(水)	祝日(文化の日) 振替休会		
11月18日(月)	東京六本木ロータリークラブメーキャップ		
11月27日(水)	祝日(勤労感謝の日) 休会		



央戸 宏行
プログラム委員長

幹事報告 多田 憲司幹事

- 1) 10月のロータリーレートは、1ドル142円です。
- 2) 10月5日(土)15:20～二本松イタリアンダイニング バッカナレにて「県北第一分区第4回会長・幹事会」が開催されます。今回は安藤 正道副会長と多田 憲司幹事が出席いたします。
- 3) 次週10月9日(水)の例会は、12:30～福島県教育会館にて開催いたします。地区会員増強委員会 伊東優子様(福島21RC)の卓話です。会場準備は「奉仕プロジェクト委員会」の担当です。11:45までに集合をお願いいたします。



本日の出席率

会員数	43名
出席者総数	28名
うち出席免除会員出席	2/5名
出席率	70.0%

児童養護施設・ 子ども食堂への食材贈呈式



- ・社会福祉法人青葉学園
施設長 黒沢俊之助 様
- ・社会福祉法人福島愛育園 阿曾俊樹 様
- ・みんなの孫子老食堂 庄司美穂 様
- ・飯坂温泉子ども食堂えん
蔵湯山常泉寺 住職 中野善隆 様
- ・いいざか子ども食堂いっしょに
新狐山宝光院不動寺 横田真紀 様

・佐藤 和子奉仕プロジェクト委員長より
目録贈呈

・代表者様よりごあいさつ
社会福祉法人福島愛育園
阿曾俊樹 様



HAPPY BIRTHDAY!!

◆10月会員及びパートナーの誕生日
10月17日 鈴木 努会員のパートナー

10/3
いいざか子ども食堂
いっしょに様へ
食材を配達しました!



■佐藤 信雄会長
児童養護施設及び子ども食堂の代表の方々、
ようこそいらっしゃいました。又、新会員スピーチ
川瀬さん、よろしくお願いします。

■穴戸 宏行会員
川瀬会員のスピーチを楽しみにしています。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 安藤 正道 | 川瀬 哲雄 | 佐々木 臣樹 | 多田 憲司 |
| 石橋 真一 | 菅野 幸一 | 佐藤 和子 | 芳賀 裕 |
| 植木 博隆 | 小林 潤子 | 佐藤 信雄 | 平井 義郎 |
| 梅津 寿光 | 紺野 信 | 佐藤 龍史 | 桃井 三夫 |
| 大出 隆秀 | 斎藤 高紀 | 穴戸 宏行 | 筋内 一典 |
| 鍛冶 輝雄 | 齋藤 康隆 | 菅谷 敏 | 山田 稔 |
| 亀岡 政雄 | 坂本 和司 | 鈴木 努 | 渡邊 英世 |

ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員



目標 200万円

本日の投入額 28件 35,000円
累 計 **371,000円**

